

感情に合った表情やその特徴を考える学習																													
学校種	特別支援学校	学年	高等部 1 年	障がい種	知的障がい																								
対象の児童生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校特別支援学級から入学した生徒である。 ・ とても繊細である。慣れない人や環境においては、言葉や表情等による表出が少なく、自分の気持ちを伝えることが難しい。 ・ 慣れた人や環境においては、豊かな表情を見せたり会話を楽しんだりする。 ・ 他者への思いやりがあり、相手を傷つけないような言葉や行動を選択できる。 ・ 役割を果たすことに対する責任感が強いことから、自分の能力以上と感じる役割を与えられることに不安を感じる。 																												
短期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心できる環境の中で、安心できる人と一緒に小さな成功体験を重ね、「自分にもできた」と実感できる活動を増やすことができる。 ・ 安心できる相手に、自分の意見や意思を言葉や仕草で伝えることができる。 																												
必要な項目の選定 (6区分27項目)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心理的な安定 (1)情緒の安定 ・ 人間関係の形成 (1)他者とのかかわりの基礎 (4)集団への参加の基礎 ・ コミュニケーション (5)状況に応じたコミュニケーション <p>※ これらの内容を関連付けて指導内容を設定した。</p>																												
具体的な指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小集団による活動の中で、安心した気持ちを持ち、自分から意思を表現する。 ・ 活動する集団が大きくなっていく中で、人間関係を広げていく。 																												
単元(題材)名	『おもてなしをしよう』	指導形態	集団 (6名)																										
単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人に与える印象について知ることができる。 ・ 自分の考えや意見を他者に言葉で伝えることができる。 																												
単元(題材)の計画	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>おもてなしをしよう！意味・内容・意見交換</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>衛生面</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>感情と表情</td> <td>2時間 (本時)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>声の大きさ・トーン、話す速さ</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>言葉遣いと気持ちの良い会話の仕方</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>まとめ・準備</td> <td>1時間</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>リハーサル</td> <td>2時間</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>やってみよう！まとめ</td> <td>2時間</td> </tr> </table>					1	おもてなしをしよう！意味・内容・意見交換	2時間	2	衛生面	2時間	3	感情と表情	2時間 (本時)	4	声の大きさ・トーン、話す速さ	2時間	5	言葉遣いと気持ちの良い会話の仕方	2時間	6	まとめ・準備	1時間	7	リハーサル	2時間	8	やってみよう！まとめ	2時間
1	おもてなしをしよう！意味・内容・意見交換	2時間																											
2	衛生面	2時間																											
3	感情と表情	2時間 (本時)																											
4	声の大きさ・トーン、話す速さ	2時間																											
5	言葉遣いと気持ちの良い会話の仕方	2時間																											
6	まとめ・準備	1時間																											
7	リハーサル	2時間																											
8	やってみよう！まとめ	2時間																											
指導の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「こんな時、どんな顔？」として、状況や場面に合った絵文字 (おはよう、びっくり、腹が立つ、やった一等) を選択する学習を行った。 ・ テーマに応じて、グループで作成した表情の特徴を、自分の言葉で伝える学習を行った。 <p>テーマ1 ずっと欲しかった物や、大好きな物を買ってもらった時の顔。</p> <p>テーマ2 好きな物や好きな事をバカにされたり、否定されたりした時の顔。</p> <p>テーマ3 大好きなお菓子を、学校から帰ったら食べようと楽しみにしていたが、家族に食べられてしまった時の顔。</p> <p>テーマ4 好きな人に久しぶりに会えた時の顔。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラスメイトから表情についてのアドバイスを受け、自分の表情に関する課題を前向きに捉えようとする姿が見られた。 ・ 自分の考えを他者に伝えたり、柔らかな表情で人の印象は変わるということを確認したりすることができた。 																												

